

平成30年度 学校版環境 ISO への取組の概要報告

山鹿市立鹿本中学校

1 取組の概要

(1) 生徒・職員の学校環境 ISO 宣言項目

鹿本中学校環境 ISO 生徒版

- ① 【節水】コップ1杯の水で歯磨き、バケツ1杯の水での掃除を心がけます。
- ② 【節電】移動教室・昼休み・掃除の時間は、電気を消します。
- ③ 【リサイクル】紙のゴミは徹底して分別します。
- ④ 【リサイクル】アルミ缶収集活動にクラス全員で取り組みます。
- ⑤ 【ゴミの削減】給食を残さず食べます。

鹿本中学校環境 ISO 職員版

- ① 紙の消費を抑え、再生紙利用や両面印刷を行います。
- ② 全ての紙ゴミをリサイクルします。
- ③ 整理整頓を心がけ、排出ゴミを減らします。
- ④ 照明をこまめに消します。
- ⑤ 冷房使用は室温28度以上、暖房使用は15度以下を徹底します。
- ⑥ 使用していないOA機器の電源をこまめに消します。

(2) 取組の実際

宣言項目① 【節水】コップ1杯の水で歯磨き、バケツ1杯の水での掃除を心がけます。

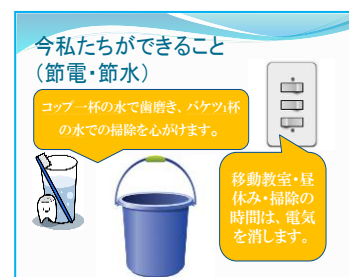
生徒は、家庭からコップを持参し、歯磨きの際にコップ1杯で口を漱いでいます。生徒たちの中では習慣化しています。また、掃除では、バケツ1杯の水で雑巾を洗い、水を流しながら雑巾を洗っている生徒はほとんどいなくなりました。

節水の意識も高くなり、習慣化・定着しています。



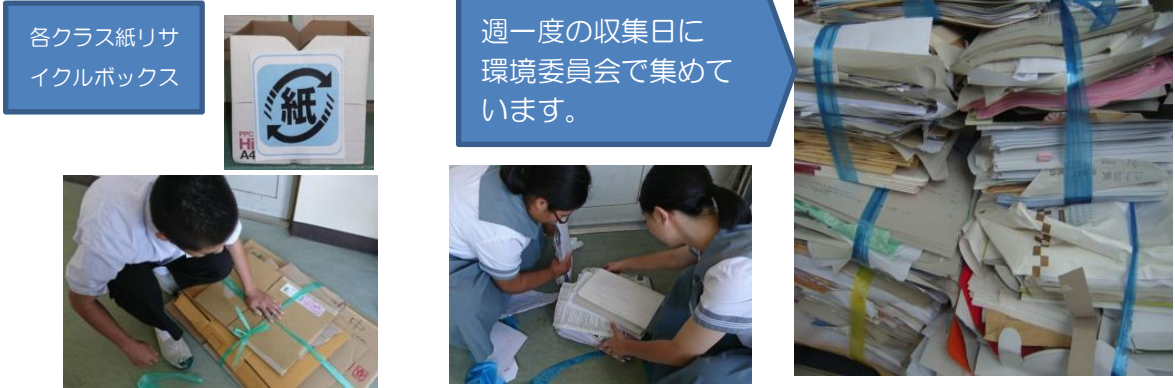
宣言項目② 【節電】移動教室・昼休み・掃除の時間は、電気を消します。

移動教室の際は、教室を施錠することにしており、これによって電気を消すことも係の生徒の仕事として定着しました。また、昼休み・掃除の時間には「節電」の放送を流し、「環境にやさしい時間にしましょう。」と放送委員が呼びかけをしています。



宣言項目③【リサイクル】紙のゴミは徹底して分別します。

環境委員を中心に、特に力を入れている取組です。各クラスや職員室に紙リサイクルボックスを設置し、いらなくなった紙をリサイクルする取組を続けています。取り組み始めて4年目となり、生徒・職員に紙のゴミを分別する習慣が定着してきました。



週一度の収集日に環境委員会で集めています。

宣言項目④【リサイクル】アルミ缶収集活動にクラス全員で取り組みます。

年に2回、環境委員会を中心にアルミ缶リサイクルクラスマッチを行っています。各家庭から持ち寄るアルミ缶の数と、参加率を競うことで、環境保全への意識を高めようと活動しています。



| 順位 | クラス | 合計缶数 | 参加率 | 缶数×参加率 |
|----|-----|------|--------|---------|
| 1 | 1-1 | 1254 | 92.30% | 1157.54 |
| 2 | 3-2 | 845 | 67.70% | 572.42 |
| 3 | 2-1 | 839 | 65.90% | 552.51 |
| 4 | 3-1 | 616 | 71.00% | 437.16 |
| 5 | 2-2 | 461 | 46.20% | 212.77 |
| 6 | 1-2 | 520 | 40.50% | 210.81 |
| | 合計 | 4535 | 63.90% | |

*ご協力ありがとうございました。
2学期も行いますので、ご協力をお願いします。

活動を始める前には、委員会でポスターを作成し、各学級に環境委員が参加を呼びかけました。1学期のクラスマッチの参加率は学校全体で63.9%となり、全校生徒への意識付けにはなりました。しかし、学年やクラスによって取組に差が出てきました。

1・2学期のクラスマッチの収益は、生徒会費に組み込み、生徒会で話し合って、必要な物を購入していく予定です。

宣言項目⑤【ゴミの削減】給食を残さず食べます。

給食委員会の呼びかけにより、給食当番の配膳の仕方も工夫し、ご飯やおかずを全てつぎ分けています。どのクラスもつぎ分けられた給食は、残さず食べることができているため、残菜は、毎日ほとんど出ていません。給食センターが学校敷地の隣にあり、給食担当がクラスを巡回して栄養指導を行うことも、残さず食べる意識付けになっていると考えられます。また、自分たちが飲んだ牛乳のパックが、リサイクルされ、還元されていることも給食時の学校放送で知らせました。



2 環境に関するその他の取り組み

(1) 花委員会

花委員会を中心に校内の花壇に花を植える「花いっぱい運動」を、全校生徒で行っています。

春と秋に花委員会が種をまき、クラスごとに交代でポットに移植をして、毎年約20,000本の苗を育てます。育てた苗は、クラスの花壇に移植します。

花壇の水かけを当番制にし、クラス全員が自分の学級の花壇を管理するようにしています。また、育てた苗を授業参観や文化祭のときに保護者や地域の方に配ることもできました。



(2) PTA資源物回収

PTAの協力を得て、夏休みに、資源物回収を行いました。毎年各町内の区長さん・公民館にもご協力をいただき、生徒が事前に地域の家庭を回って協力を呼びかけました。取組は4年目を迎え、地域での恒例行事になりつつあり、多くのご協力をいただけるようになりました。空き缶・ビール瓶・一升瓶・古新聞・古雑誌・衣類の回収を行い、収益金で、体育大会の優勝旗を購入することができました。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 歯磨きや掃除のバケツの水も必要最小限の水量を使用しており、生徒の節水の意識は高まってきています。
- ② 移動教室・昼休み・掃除の時間は、放送委員や学級の係などの協力もあり、どのクラスも節電を心掛けるようになりました。
- ③ アルミ缶のリサイクルクラスマッチ、紙ゴミリサイクルは、継続をしてきたことで習慣化してきました。教師の呼びかけで、紙リサイクルボックスの利用も増えてきています。

- ④ アルミ缶クラスマッチの参加率や収益などを数値でわかりやすくし、次のアルミ缶リサイクルクラスマッチでの目標を意識しやすくなりました。収益金で生徒が使うものを購入していくことで、活動に対する意欲も高まっています。

(2) 課題

- ① 学校から出されるゴミには特殊なものもあり、生徒、職員とも迷ってしまうことがあります。また、回収業者の方の話によると、回収される物もこれまでより、制限されてきているため、学校でリサイクルされる物はどのような物が明確に生徒、職員に伝える必要がありました。そのために、ゴミを出すための「分かりやすいルール作り」をするための環境整備に、さらに力を入れる必要があります。
- ② 生徒の中には、まだ環境保全の取組に対して「指示されたから」「委員会がやっているから」という受け身の姿勢が見られます。より積極的に働きかける態度を育てていきたいです。
- ③ 環境委員会として取り組んだアルミ缶リサイクルクラスマッチ等が、まだ各クラスに十分に理解し、協力してもらうことができていませんでした。ISOをさらに推進していくには、活動目的をもっとPRする工夫が必要であると思われました。